

# 令和2年度事業報告書

公益社団法人 宮城県航空協会

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

## 総括

令和2年度も当協会にとって厳しい状況が続く1年となり、新型コロナウイルスに対する感染防止のため、3月4日から5月10日まで飛行活動を自粛しました。

社会人は、5月16日から運航を再開。東北大学航空部は、8月22日から少人数での飛行活動を再開しましたが、12月末、再び活動禁止となり3月31日現在、再開の目途は立っていません。

例年とは異なる状況下での活動となりましたが、主な出来事についてご紹介させていただきます。

まずは曳航機材と体制の強化についてです。昨年度より曳航方法を航空機曳航からウインチ曳航に変更したことにより、ウインチ曳航の体制強化が必要となりました。飛行活動の要となる、安定的なウインチ曳航サービスの実現に向け2つの施策を実施しました。一つ目は曳航機材の更新、2つ目は人材育成です。曳航機材の更新については、老朽化が目立ち始めパワー不足の角田ウインチに替え、使用を休止していた東北大ウインチを東北大学と協同で再稼働させることとしました。再稼働へ向けての主な実施項目は、公道を走行可能な台車へのウインチ設備の載せ替え及び曳航索の鋼索から化学繊維索（ダイニーマ索）への変更です。必要資金は、新台車の購入・整備・車検費用を当協会が、ウインチ設備の載せ替えやダイニーマ索への変更に伴う改造等を東北大学航空部及びOB会がそれぞれ負担しました。また、新台車に合わせた防護柵の製作や操縦席周りの艤装等は、年末年始の連休を中心に当協会会員及び東北大学航空部の学生が協力して取り組みました。日程は令和2年7月に新台車を購入、12月にウインチ設備の載せ替えを完了、令和3年2月に車検登録完了、3月27日に初曳航に成功しました。従来の角田ウインチに比べ、出力の増加による離脱高度の増加が期待できます。今後も試験曳航を行いながら、角田ウインチと交代していく予定です。

また、人材育成として社会人のウインチオペレーター養成を開始し1名が誕生。曳航責任者として活躍しています。

滑空場関連としては、前述の、新型コロナウイルスによる飛行自粛期間となった5月連休に、滑走路の整地作業を実施しました。延べ10名に応援をいただき、重機を入れて滑走路面を整備しました。

飛行活動については、前述の通り新型コロナウイルス感染拡大の影響により、規模の縮小、中止となった事業も多くありましたが、予定通り実施し成果を得たものもありました。

9月21日から22日、滑空協会主催の滑空スポーツ実技講習会が開催され、4名の会員が異常姿勢からの回復について受講しました。

年末年始は恒例となった角田ウェーブキャンプを開催しました。多くの会員が参加したほか、台風19号被害による活動休止状態が続く葦崎航空協会ユース会員4名をはじめ、北海道、関東のクラブからの参加者もありました。期間中は天候にも恵まれ、複数のウェーブによる高高度飛行が達成されました。

また、うれしいニュースもあります。1月31日に、川原会員がウェーブにより上昇し、角田から北へ大和町付近まで53km飛行し、往復100km以上となる距離飛行に成功。FAIの銀章科目の一つである距離飛行50kmを達成しました。昨年度に獲得した滞空5時間、獲得高度1000mと合わせ銀章も獲得。当協会にとって久々の銀章達成となりました。

新型コロナウイルスの再拡大を受け、3月18日から宮城県に独自の緊急事態宣言が発令されています。今後の状況にもよりますが、当協会としては感染防止策を徹底しながら活動を継続していく方針です。厳し

い状況が続きますが、令和3年度も皆様のご協力をいただきながら、乗り切っていきたいと思っております。

## 事業の概要

### [ 公益事業 1 ]

(1) 定款第4条第1号の事業（航空機の操縦訓練とその関連事業）

1-1. グライダーによる練習会を主に土曜、日曜及び祝祭日に行った。

[宮城県航空協会の部]

角田滑空場：106日

延べ参加者人数：1,098名

機 種	飛行時間（時間+分）	飛行回数	機 種 名
JA30HT	0+00	0回	曳航機 モール
JA2326	93+58	560回	複座 ASK21
JA2554	33+25	136回	複座 ツインIII
JA2325	64+56	207回	単座 ピラタス B4
JA2178	114+59	180回	複座 SF28A フェルケ
JA2458	46+37	23回	単座 Discus bT
合 計	353+55	1,106回	

[団体会員東北大学航空部の部]

角田滑空場活動：34日 延べ304人参加			角田滑空場以外の活動：0日	
機 種	飛行時間 (時間+分)	飛行回数	飛行時間 (時間+分)	飛行回数
JA40AK	22+49	154回	0+00	0回
JA01VT	1+44	11回	0+00	0回
JA2173	45+59	334回	0+00	0回
JA2186	0+06	1回	0+00	0回
合 計	70+38	500回	0+00	0回

1-2. 訓練の成果

エンジンの無いグライダーの訓練成果の1つに滞空時間やクロスカントリーの野外飛行があげられるが、令和2年度の滞空時間の内訳

時 間	回数（航空協会）	回数（東北大）	合 計
1時間以上	52回	2回	54回
内2時間以上	45回	0回	45回
内3時間以上	12回	0回	12回
内4時間以上	6回	0回	6回
内5時間以上	1回	0回	1回

令和2年度の距離飛行の内訳（OLCに投稿されたデータを集計）

日 時	使用機体	飛行距離(km)	備 考
2020/6/20	JA2458	168.73	
2020/6/20	JA2326	79.03	
2020/8/12	JA2458	212.08	
2020/8/13	JA2326	76.88	
2020/8/15	JA2458	81.62	
2020/9/19	JA2325	56.78	
2020/11/23	JA2458	441.77	
2020/11/29	JA2325	54.85	
2020/11/29	JA2326	56.84	
2020/12/6	JA2178	69.95	
2020/12/28	JA2178	90.26	
2020/12/28	JA2178	57.14	
2020/12/29	JA2458	384.61	
2020/12/29	JA2325	66.6	
2020/12/29	JA2326	58.11	
2020/12/29	JA2326	58.17	
2021/1/3	JA2458	80.81	
2021/1/3	JA2554	62.73	
2021/1/10	JA2325	65.13	
2021/1/11	JA2325	62.15	
2021/1/11	JA2178	61.53	
2021/1/11	JA2178	57.1	
2021/1/31	JA2325	166.97	
2021/2/11	JA2458	104.3	
2021/2/14	JA2458	119.62	
2021/2/27	JA2458	164.76	
2021/3/7	JA2458	53.67	
合 計		3012.19	

注：OLCとは：オン・ライン・コンテストの略。インターネット上で毎日記録のコンテストを行っているサイト。

1-3. 特定技能審査の実施 滑空機 社会人6名

1-4. 操縦教育証明実地試験の受験 令和2年度の実績無し  
 自家用技能証明実地試験の受験 令和2年度の実績無し

(2) 定款第4条第2号の事業（航空機等展示、体験飛行、展示飛行による航空に関する知識、特に航空スポーツの知識の普及事業）

2-1 子供グライダー教室

スカイネット角田、スポコム角田と協力し子供グライダー教室を5回計画し、4回実施

- 第1回 開催日時：令和2年7月25日(悪天候により中止)
- 第2回 開催日時：令和2年8月9日  
開催場所：角田滑空場  
参加人数：子供5 保護者5名 スタッフ2名  
教室内容：航空教室およびウインチ曳航による体験飛行 (JA2326,JA2554)
- 第3回 開催日時：令和2年8月15日  
開催場所：角田滑空場  
参加人数：子供6名 保護者6名 スタッフ1名  
教室内容：航空教室およびウインチ曳航による体験飛行(JA2326,JA2554)
- 第4回 開催日時：令和2年9月20日  
開催場所：角田滑空場  
参加人数：子供7名 保護者7名 スタッフ2名  
教室内容：ウインチ曳航による体験飛行 (JA2326,JA2554,JA2173)
- 第5回 開催日時：令和2年10月18日 (台風の影響により日程変更)  
開催場所：角田滑空場  
参加人数：子供7名 保護者7名 スタッフ1名  
教室内容：ウインチ曳航による体験飛行 (JA2326,JA40AK,JA2173)

2-2 通常訓練時に角田滑空場の来場見学者にグライダーを説明し地上における体験搭乗を行った。

また、希望者には体験飛行を提供した。

開催日： 通常訓練時随時 85日

訪問見学者：237名がグライダーの説明を聞きその内43名が体験飛行を行った。

その他阿武隈川堤防からの見学者多数あり。

(3) 軽飛行機、グライダー、モーターグライダーを使用した地上展示、地上搭乗体験及びデモフライト

3-1 角田市「宇宙っ子まつり」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

3-2 角田市「ファミリーサイクリングフェスティバル」参加者が角田滑空場へ来場見学会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

(4) グライダー、モーターグライダーを使用した技量記章及び記録認定事業

4-1 日本滑空記章

C章 東北大1名(木田)

4-2 FAI 国際滑空記章

銀賞距離 50km 航空協会1名 (川原 令和3年1月31日)

銀章 航空協会1名 (川原 令和3年1月31日)

(5) 飛行技術研究とその成果の伝承事業

### 5-1 異常飛行姿勢からの回復操縦訓練

- ・「錐もみ」状態に陥らないための訓練を中心に随時実施
- ・滑空スポーツ実技講習会を開催し会員4名が参加（6-3項参照）

### 5-2 ウェーブコンタクトフライト

最高到達高度	回数	備考
2,500m～3,000m	19	
3,000m～4,000m	3	要酸素飛行
4,000m～5,000m	1	要酸素飛行
5,000m以上	3	要酸素飛行
計	26回	

### 5-3 高高度飛行及び長距離飛行の飛行技術研究及びその伝承

令和3年4月現在、川原明紘会員が OLC Rookie Championship で獲得ポイント 597.82 で日本1位をキープ

## (6) 定款4条第5項の事業（その他この法人の目的達成に必要な事業）

### 6-1 東北大学ウインドノーツ（鳥人間コンテストに出場するクラブ）にテスト飛行のため

コロナウイルス対策で琵琶湖の鳥人間コンテストが中止の為、令和2年度の使用実績は無し

### 6-2 第8回全国グライダークラブミーティングに参加

全国のグライダークラブの若い指導者が集まり、情報交換、指導のあり方、事故防止対策等を話し合う目的の会議。新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインで開催

開催日：令和2年12月12日

場所：ZOOMにより開催

出席：15団体25名

議題：第1日目：各クラブからの近況報告

参加クラブ（参加者数）：

（公社）日本滑空協会（2）、（公社）滝川スカイスports振興協会（SATA）（1）、（公社）宮城県航空協会（1）、（公社）日本グライダークラブ（2）、（公社）日本学生航空連盟（1）、NPO 法人関宿滑空場（1）、（公社）長野グライダー協会（2）、NPO 韮崎市航空協会（1）、（一社）静岡県航空協会（3）、大野グライダークラブ（1）、ヤマハソアリングクラブ（2）、中部日本航空連盟岐阜支部（2）、中部日本航空連盟愛知支部（2）、中部日本航空連盟静岡支部（2）、NPO 九州グライダースポーツ連盟（2）

### 6-3 滑空スポーツ実技講習会 2020 開催

日時：令和2年9月21、22日 9:00～17:00

場所：角田滑空場及び角田事務所

主催：公益社団法人日本滑空協会

参加人数：4名

内容：EMFT 異常姿勢からの回復訓練

航空機曳航により、8回のEMFT訓練を実施。  
飛行開始前後に角田事務所にてブリーフィングを実施。

#### 6-4 航空安全講習会・滑空スポーツ講習会 2020 開催協力

日 時： 令和2年12月5日（土） 10:30～17:00  
場 所： TKP 仙台南町通カンファレンスセンター  
主 催： 公益社団法人日本滑空協会  
共 催： 公益社団法人日本航空機操縦士協会、一般社団法人日本飛行連盟  
NPO 法人 AOPA-JAPAN、NPO 法人全日本ヘリコプター協議会  
後 援： 国土交通省航空局  
参加人数： 22 人

#### 6-5 第28回仙台空港気象懇話会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

## [ 公益事業 2 ]

### 1. 定款第4条第4号の事業（災害発生及び緊急時離発着場として提供できる関連施設の設置・運用と維持管理事業）

仙台空港の復興により仙台空港を基地とするヘリコプターを使用する航空会社は申請がなくなりました。しかし、災害や救急は何時発生するかわからないため、申請の有無にかかわらず着陸帯の草刈り等の整備維持管理を行いました。

## 庶務の概要

### 1. 会員数の異動

	( )内は正会員	入会者数	退会者数
令和2年4月1日時点の会員数	79名 (73名)	3名	2名
令和3年3月31日時点の会員数	80名 (75名)		

### 2. 定款第13条第2項による社員総会の開催

1. 日時 令和2年6月6日（土）午後2時～午後3時
2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所 パイプハウス
3. 出席社員 62名（うち委任状による出席者48名）
4. 議事録署名人 議長 理事 滝川勉、代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、山田昌宏
5. 議題とその結果

#### (1) 第1号議案 令和元年度事業報告書について

斎藤理事及び酒井理事より、令和元年度の事業報告について事業報告書に基づき説明が行われ、上記の説明の後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、承認を諮ったところ異議なく、原案どおり満場一致をもって承認可決された。

#### (2) 第2号議案 令和元年度決算報告書について

木村代表理事より、令和元年度の決算内容について決算報告書（貸借対照表、収支計算書、正

味財産増減計算書、その付属明細書、財産目録)に基づき詳細に説明が行われた。

さらに、片倉監事より、上記の書類は適正に処理されていることが認められたとの監査報告が行われ、上記の説明の後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、承認を諮ったところ異議なく、原案どおり満場一致をもって承認可決された。

### (3)第3号議案 任期満了に伴う役員改選について

理事の選出について木村代表理事より、定款第25条1項の定めにより当法人の理事全員が、本定時社員総会の終結の時をもって任期満了により退任することとなる。今回の役員改選では古川理事以外は重任し、古川理事の後任として鳥居大地氏を理事に推薦する旨の説明があった。

議長は重任及び新任の理事について候補者ごとに個別に賛否を議場に諮ったところ、それぞれ満場一致をもって承認可決された。

なお、定時社員総会に出席している被選任者については、席上、それぞれが就任を承諾した。また、欠席の菅原壽氏からは令和2年5月2日の理事会の席上理事就任の承諾を得ており、就任承諾書は全員から6月6日付で提出して貰うこととした。

理事(重任) 木村義彦、酒井忠政、斎藤岳志、佐藤忠義、滝川勉、山田昌宏、菅原壽  
(就任) 鳥居大地  
(退任) 古川健二

続けて監事選出について木村代表理事より、定款25条第2項の定めにより当法人の監事片倉修氏及び神谷文夫氏が本定時社員総会の終結の時をもって任期満了により退任するので、次期監事の候補者は兩名に重任して貰う旨の説明があり、議長は候補者ごとに個別に賛否を議場に諮ったところ、それぞれ満場一致をもって承認可決された。

なお、定時社員総会に出席している片倉修氏については、席上就任を承諾した。また、欠席の神谷文夫氏からは令和2年5月2日の理事会で監事就任の承諾を得ており、就任承諾書は兩名から6月6日付で提出して貰うこととした。

監事(重任) 片倉修、神谷文夫

## 6.報告事項等

### (1) 令和2年度事業計画について

令和元年度第6回理事会(2月8日)にて承認された事業計画について報告した。

### (2) 令和2年度収支予算について

令和元年度第6回理事会(2月8日)にて承認された収支予算について報告した。

## 3. 定款第31条2項による理事会の開催

### 第1回 理事会

1. 日時 令和2年5月2日(土) 13時00分~14時30分

2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所 パイプハウス

3. 出席者 代表理事 木村義彦 理事 酒井忠政、斎藤岳志 監事 片倉修

Web出席 理事 滝川勉、山田昌宏、菅原壽 監事 神谷文夫

欠席者 理事 佐藤忠義、古川健二

議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、監事 片倉修、神谷文夫

## 4. 議題とその結果

今理事会は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出ていることから、県外移動自粛の役員にはWeb会議により出席してもらい、会議場も密閉、密集、密接を避けパイプハウスで

開催することを説明した。

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

(1) 第1号議案 令和元年度事業報告承認について

木村代表理事、斎藤理事及び酒井理事より、資料に基づき令和元年度事業報告について説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 令和元年度決算報告承認、監査報告について

木村代表理事より、令和元年度の決算内容について決算報告書(貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録)に基づき説明が行われた。

さらに、片倉監事より、上記の書類は適正に処理されていることが認められたとの監査報告があった。

審議の後、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

なお、議長より6月6日の定時社員総会に付議する旨の説明があった。

(3) 第3号議案 令和2年度定時社員総会について

定款第13条2項では毎年1回6月に開催すると定めており、令和2年度総会を6月6日(土)14時から角田事務所パイプハウスにて開催することが提案され承認された。

(4) 第4号議案 任期満了に伴う役員改選について

古川健二理事が病気療養中のため辞任の申し出があったことから、後任の理事に鳥居大地会員を推薦することとし、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(5) 第5号議案 渡邊睦生さん及び芳賀靖さんの入会承認について

渡邊睦生さんと芳賀靖さんから入会申込があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

## 第2回 理事会

1. 日時 令和2年7月24日(金) 16時50分～18時30分

2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所 パイプハウス

3. 出席者 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、山田昌宏、菅原寿、鳥居大地  
監事 片倉修 Web出席 監事 神谷文夫

欠席者 理事 佐藤忠義

議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、監事 片倉修、神谷文夫

### 4. 議題とその結果

今理事会は、新型コロナウイルスによる感染防止のため移動自粛の役員にはWeb会議で出席し、会議場も密閉・密集・密接を避けパイプハウスで開催することを説明した。

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

(1) 第1号議案 ウインチ用台車トラック購入について

鳥居理事より、資料「東北大ウインチの再稼働趣意書」「日野デュトロ購入趣意書」に基づきウインチ用台車トラック購入について説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

また、木村代表理事より、現在の貸借対照表について説明が行われ、経理上購入できるとの意見が述べられた。

購入が承認されたことから、上野自動車の請求書に基づき振り込むこととした。

### 5. 報告事項



- (1) 役員就任法人登記は高橋弘毅会員の手伝いを得て終了した。
- (2) B4用トレーラーとK2用トレーラーの車検が終了し、B4用トレーラーの名義を木村義彦から宮城県航空協会へ変更した。

### 第3回 理事会

1. 日時 令和2年10月10日(土) 17時00分～19時00分
2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所
3. 出席者 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、佐藤忠義、滝川勉、山田昌宏  
監事 片倉修、神谷文夫 Web出席 理事 菅原寿、鳥居大地  
議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、理事 斎藤岳志、監事 片倉修、神谷文夫
4. 議題とその結果

今回の理事会は、台風14号の影響でWeb会議出席の役員2名あり。

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

#### (1) 第1号議案 宮城県の立入検査について

木村代表理事より、3年毎(参考:前回は平成29年12月15日)に行われている宮城県の立入検査の日程が11月25日(水)に決まったことから、その準備に入ることが説明された。

事前に検査項目が示されていることから、その内容に基づき木村理事長と酒井理事が資料等を整理し準備することとした。

#### 5. 報告事項

- (1) 令和2年度子供グライダー教室は4回終了し、5回目を10月18日に行う。
- (2) JSA滑空スポーツ講習会は9月21～22日、JMGCの曳航機によるATでスピンからの回復の実技講習を行い4名が受講した。
- (3) 木村理事長が申請した仙台市地域産業支援金及び角田市小規模事業者等事業継続応援金が各20万円、国(中小企業庁)の持続化給付金200万円が振り込まれた。
- (4) 毎年発行しているエアワークスの「ソアリングカレンダー」2021年版は新型コロナの影響で発行されないため年末の挨拶に使用できなくなった。
- (5) 7月の選挙で角田の新市長となった黒須貫(くろすとおる)氏を木村理事長と斎藤理事が表敬訪問する予定である。

### 第4回 理事会

1. 日時 令和3年2月13日(土) 17時15分～20時15分
2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所
3. 出席者 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、佐藤忠義、滝川勉、山田昌宏、菅原寿、鳥居大地 Web出席 監事 神谷文夫  
欠席者 監事 片倉修  
議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、監事 神谷文夫
4. 議題とその結果

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

#### (1) 第1号議案 令和2年度補正予算(案)承認について

木村代表理事より、令和2年度補正予算(案)について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

また、今年度の駐機料はコロナ禍関連で仙台市は地域産業支援金、角田市は感染拡大防止協力金、国は持続化給付金の申請し、その交付があったことから36万円を30万円とすることについて説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 令和3年度事業計画(案)承認について

斎藤理事より、資料に基づき令和3年度事業計画(案)について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(3) 第3号議案 令和3年度収支予算(案)承認について

木村代表理事より、資料に基づき令和3年度収支予算(案)について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(4) 第4号議案 専務理事の承認について

昨年11月25日に宮城県の立入検査が行われ、定款11条3項で決められている「専務理事」が定められていないとの指摘があったことから酒井理事を専務理事にすることについて、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(5) 第5号議案 事務所東側隣接地の取得に係る資産取得資金取扱規程について

木村代表理事より、角田事務所東側隣接地(角田市平貫江合字13-2)を所有者太田茂さんから購入するための資金450万円を積み立てる資金取扱規程について賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(6) 第6号議案 複座練習機の取得に係る資産取得資金取扱規程について

木村代表理事より、複座練習機の取得に係る費用2,000万円を積み立てる資金取扱規程について賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(7) 第7号議案 新入会員の承認について

宍戸忠さん及び岡崎孝彦さんから入会申込があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

## 5. 報告事項

(1) 11月25日に宮城県の立入検査が行われ、検査概要と指摘事項について説明

(2) JSA滑空スポーツ講習会(学科)が12月5日(土)にTKP仙台南町通カフランスセンターで行われた

(3) 角田事務所のプロパンガスのボンベを移動、外トイレを温水便座に変えた

(4) 角田河川事務所へ角田滑空場河川敷使用許可更新申請(令和3年4月1日～5年間)を行い、1月5日付「角田滑空場河川敷使用許可書」国東整仙管第209号が届いた

(5) 12月26日～1月3日 年末始のウェーブキャンプ実施

(6) 福島スカイパークへJA2178の使用許可申請(令和3年4～12月)を行った

(7) 角田滑空場河川敷使用許可が下りたことから、宮城県土木事務所へ角田滑空場河川敷使用料の減免申請を行った

(8) JA30HTの売却について、JMGCが北海道在住のオーストラリア人に430万円で売却する予定である

尚、補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成しておりません。

以上